

BPOPer6

取扱説明書





1. はじめに

この度は、BPOPer6 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に必ずお読みください。
 この取扱説明書は、大切に保管してください。







安全上の注意

<必ず守っていただくようお願いします>

本装置を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意事項を喚起しています。

	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。左の表示例は「警告または注意事項」があることを表しています。
	 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。左の表示例は「分解禁止」を表しています。
	 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています。



警告

	本体の内部や隙間に金属片を落としたり、水やコーヒーなどの液体をこぼしたりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
	電源ケーブルを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。電源ケーブルに傷がついて火災や感電の原因になります。電源ケーブルに傷がついた場合は使用しないでください。
	本体および AC アダプタは絶対に分解や改造しないでください。発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。



注意

	指定以外の AC アダプタは使用しないでください。発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。
	湿気の異常に多い場所や水分のかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
	電源ケーブルや接続ケーブルをコンセントやコネクタから抜くときはコネクタ部分を持って外してください。ケーブル部分を引っ張ると故障の原因となります。
	次のような場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ◆ 異常状態から回復できないとき ◆ 異臭がする、煙が出た、または異常音が発生したとき ◆ 本装置の内部や隙間に、金属片や水などの異物が入ったとき。 異常状態のまま使用すると、事故や火災の原因になります。

次のような異常が発生した場合、速やかにコンセントから電源を抜き、当社へ連絡下さい。

- 煙が出た、においが出た
- 異常な音が出た
- 水や異物が入った
- 製品を落とした
- 製品が破損した

使用上の注意

火災や感電を防ぐため、以下のような場所には設置しないで下さい。

- 風通しの悪い場所
- 湿気や埃の多い場所
- 異常に高温な場所
- 熱器具に近い場所
- 十分な固定ができない場所
- 激しい振動のある場所

お手入れの仕方

- お手入れをする際には、まずコンセントから電源を抜いてから開始してください。
- 薄い中性洗剤を含ませた柔らかいぞうきんを絞って使用下さい。
- 濃いアルコール、シンナー、ベンジンなどは塗装などの損傷を招くため使用しないで下さい。
- 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きに従ってください。

制限事項

- 本製品はコンピュータに接続することは出来ません。
- 本製品がサポートする再生可能なファイル形式について、全ての環境で動作を保証するものではありません。
- 本製品を使用することにより生じた直接、間接の被害、データの消失等については、弊社では一切その責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や高度な信頼性を必要とする設備、また用途などでのこれらの用途での使用は意図しておりません。このような環境下での使用に際しては一切の責任を負いません。

その他のお知らせ

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更する場合がございます。
- 本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や、誤りなどお気づきになりましたら弊社までご連絡いただきます様をお願いします。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。
- 本製品は日本国内での使用のみ保証が適用されます。
- 本書及び本製品に使用されている、社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

1. はじめに.....	1
安全上の注意.....	1
使用上の注意.....	3
お手入れの仕方.....	3
制限事項.....	3
その他のお知らせ.....	3
2. 特徴.....	5
3. 機能.....	5
4. 付属品.....	6
5. オプション品.....	6
6. 仕様.....	7
再生ファイルについて.....	8
内蔵時計のバックアップ時間について.....	8
7. BPOPer6 の各部の機能と接続.....	9
8. VESA マウント取り付け.....	13
9. DC パススルー接続について.....	15
10. 赤外線モーションセンサー(人体検出センサー)・外部トリガポートについて.....	16
11. 赤外線リモコン.....	17
12. 各種設定.....	19
MAIN メニュー.....	19
PHOTO SETUP メニュー.....	20
MUSIC SETUP メニュー.....	20
MOVIE SETUP メニュー.....	21
SLIDE SHOW SETUP メニュー.....	22
SPECIAL SETUP メニュー.....	23
PREFERENCE メニュー.....	27
13. トラブルシューティング.....	29

2. 特徴

BPOPer6 は メモリカードに記録された画像、映像、音楽を高品質で簡単に再生できる装置です。また、業務用途として使用を想定し、各所に特徴を持っています。

Full-D1(720x480)での表示可能なMPEG1,MPEG2,MPEG4の高画質ビデオ、最大解像度5120*3840までのJPEGファイル、MP3,WAV オーディオなどに対応しており、電源オンで自動再生開始が可能です。

非常に高機能な自動運転タイマーを内蔵し、指定時刻に自動的に電源をオンオフするだけでなく、その時間帯の再生コンテンツを指定することもできます。

本体の電源のオンオフにあわせ、外部装置の電源も同時にコントロールする機能を持ち合わせていますので、モニタの電源もあわせてコントロール可能になります。

表示出力は、一般 TV のコンポジット信号 2 系統をはじめ、S-Video、コンポーネント、VGA(RGB)信号出力を持ちます。また、オプションのアダプタと併用することでコンポジット 2 系統と S-Video 出力は同時に出力可能で、同時に 3 台の TV モニタに対し同じ映像を表示できます。

コンテンツを格納するメディアは、市販のコンパクトフラッシュ TypeI,II、マイクロドライブのメディアを利用します。収録するコンテンツの長さ、量に応じて幅広い製品から目的に応じた容量のメディアを選んで使えます。メディアの記録形式は、普及している FAT 形式で、パソコンでの書き換えはもとより、デジタルカメラで記録されたデータもそのまま表示可能です。

BPOPer6 は DVD メディアよりも小さな、90mm 四方の非常にコンパクトな大きさと、据え置きや、壁面への取り付けもできるばかりでなく、液晶モニタのマウンタ規格である VESA 規格の穴位置に準拠して作られているため、パソコン用液晶モニタの背面に装着して使用することもできます。液晶モニタの背面にマウントした使用方法はユーザが前面から見た場合、電源線のみが若干見え隠れするだけの一体型のようになり、設置場所にも困りません。

その他、オプションの赤外線モーションセンサーモジュールと組み合わせることで、人体の動きをキャッチし、BPOPer6 を動作させたり、音声のミュート On/Off、さらには簡単な外部トリガスイッチを用意することで、商品を取り上げると再生コンテンツが切り替わるなど多彩な動作で、表示する映像に対するアイキャッチ度をさらにアップできます。

このように、BPOPer6 は教育分野、広告分野、ホームエンターテイメント、ビジネスプレゼンテーションの各分野において、大変有効にご利用いただけます。

3. 機能

BPOPer6 は、非常に高性能に作られており、下記の機能を備えています。

■ ソフトウェア面

- MP3, JPEG, MJPEG (.AVI, 320x240 ピクセル, 15 f/sec), MPEG-1 (VCD, SVCD, .dat), MPEG-2 (720x480 pixels), MPEG4(.asf, シンプルプロファイル, DivX). の再生・表示に対応。
- 写真の回転、ズーム、サムネイル表示、自動スライドショー
- 写真を一定時間表示をしながらバックグラウンドミュージック再生、写真と同期を取りながらのミュージック再生
- 装着してすぐ再生できるプラグアンドプレイ
- メモリカードを通してファームウェア更新が可能

■ ハードウェア面

- S-Video、コンポジット、コンポーネント、VGA、ステレオ音声出力
- コンパクトフラッシュ、IBM マイクロドライブに対応
- 操作しやすいリモコン操作
- モニタなどの AC アダプタと共用を可能にする DC9V-24V の広範囲電源入力
- 赤外線モーションセンサー・外部トリガー入力端子
- 外部リモコンセンサー／外部キーパッド入力端子

4. 付属品

BPOPer6 には下記のものが含まれています。(販売時の形態によってはこれと異なる場合があります)

■ BPOPer6 本体	1 台
■ VESA マウント 75mm->100mm アダプタ(BP-MADPT6)	1 枚
■ マウントネジ M3-4mm	2 本
■ ゴム足	4 個
■ 電源アダプタ(BP-ACADPT-A)	1 台
■ オーディオケーブル(BP-AUDIO)	1 本
■ ビデオケーブル(BP-CVBS)	1 本
■ リモコン(BP-RC)	1 台
■ 単4 電池	2 本
■ 取扱説明書	1 冊

付属品を紛失した場合などは、上記カッコ内の BP-xxxx 型番にて販売店にお問い合わせ下さい。

5. オプション品

(販売代理店にお問い合わせください。予告なく変更することがあります)

- BP-VADPT コンポーネントビデオ、第2コンポジット、S-Video 出力用アダプタケーブル
- BP-POWER6 DC 出力ケーブル 40cm
- BP-PIR モーションセンサーモジュール
- BP-VGA30CM VGA ケーブル 30cm
- BP-AUDIO30CM ミニピンオーディオケーブル 30cm

6. 仕様

対象メディア	コンパクトフラッシュ(Type I/II) マイクロドライブ
内蔵カレンダー時計	内蔵充電バッテリーによるバックアップ 30 日以上 精度 月差±30 秒以内 25°Cの環境において
出力ポート	<ul style="list-style-type: none"> ● コンポジットビデオ ● VGA 640x480 ● コンポジットビデオ第 2 ポート※1 ● S-ビデオ※1 ● コンポーネント(YpbPr)※1 ● ステレオオーディオコネクタ ● ステレオスピーカーコネクタ
出力レベル	ビデオ信号 1V(p-p) White Level オーディオ信号 1Vrms at 0dB 1KHz スピーカー出力 2W+2W@4Ω
音声出力調整	リモコンおよびダイヤル式ボリュームによる調整
入力電圧	DC9V-24V
消費電力	6W アンプを経由しないスピーカー非連結時 12W アンプを経由しないスピーカー連結時
設置方法	据え置きまたは、モニター・TV の VESA 規格マウント 75mm ピッチまたは 100mm ピッチ穴を利用し背面に固定
リモコン	赤外線方式 (単 4 電池 2 本使用)
サイズ(幅*奥行き*高さ)	90x90x22mm 突起部は除く。
重量	145g
動作温度	0°C～50°C
保存温度	-20°C～80°C
動作湿度	RH 20-80% 結露なきこと

操作方式	電源オンによるコンテンツの自動再生開始と、赤外線リモコンを用いた OSD (オンスクリーンディスプレイ) による操作
対応再生フォーマット	MPEG 1, MPEG 2, MPEG 4, MP3, WAV, JPEG, Motion JPEG AC3 コーデックは対応していません。適宜 MPEG LAYER2 音声に変換するなどして利用下さい。
写真再生モード	自動スライドショー, スライドショー間隔設定, 画面切り替え効果設定, ミュージックスライドショー ミュージックスライドショーの自動スタート MP3 ファイルと同期を取ったスライドショー
自動再生モード	メインメニューを経由せず全ファイルの自動再生
タイマーモード	内蔵カレンダー時計に従い稼動時間を設定 <ul style="list-style-type: none"> ● シングルモード: オンオフ時間設定 3 セット。(使用例: 午前、午後、夜間) ● ウィークリーモード: 曜日毎に本体オンオフ時間設定。各曜日においてはオンオフ時間設定は 1 セット スライドスイッチ設定による常時オンモードあり
モーションセンサー・外部トリガーモード	モーションセンサーや外部スイッチによる動作モード設定 <ul style="list-style-type: none"> ● ビデオおよび音声のオンオフ ● 音声ミュートのオンオフ ● 再生コンテンツグループの切替
再生プログラム指定	タイマーモードの各設定時間に合わせ、指定フォルダもしくは全コンテンツのリピート再生 モーションセンサーの反応に対し、指定フォルダの 1 回再生と別指定フォルダのリピート再生

※1. オプションの BP-VADPT が必要です。

再生ファイルについて

- メディア容量に問題のない限り、MPEG2 形式の利用をお勧めします。サポートしている各種動画ファイル形式のうち、MPEG2 が最も高い再生品質を発揮します。
- 本製品がサポートする再生可能なファイル形式について、全ての環境で動作を保証するものではありません。
- AC3 音声コーデックはサポートしていません。MPEG Layer II 音声コーデックを利用下さい。
- .ビットレートの高い動画ファイルの再生につきましてはメディアからの転送速度に依存します。動画ファイルのビットレートに対し、低速なメディアを利用された場合、コマ落ちや、音声の途切れなどが発生する場合があります。コンパクトフラッシュには、〇〇倍速を表記して販売されているメディアがありますが、1 倍速は 150Kbps を意味し、6Mbps のビットレートの動画ファイルをスムーズに再生するには、40 倍速 ($6000/150=40$) 以上の速度のコンパクトフラッシュメディアが必要になります。ただし、メディアのメーカーやモデルにより、必ずしもこの通りに動作しないものもありえますので、参考としてご覧ください。

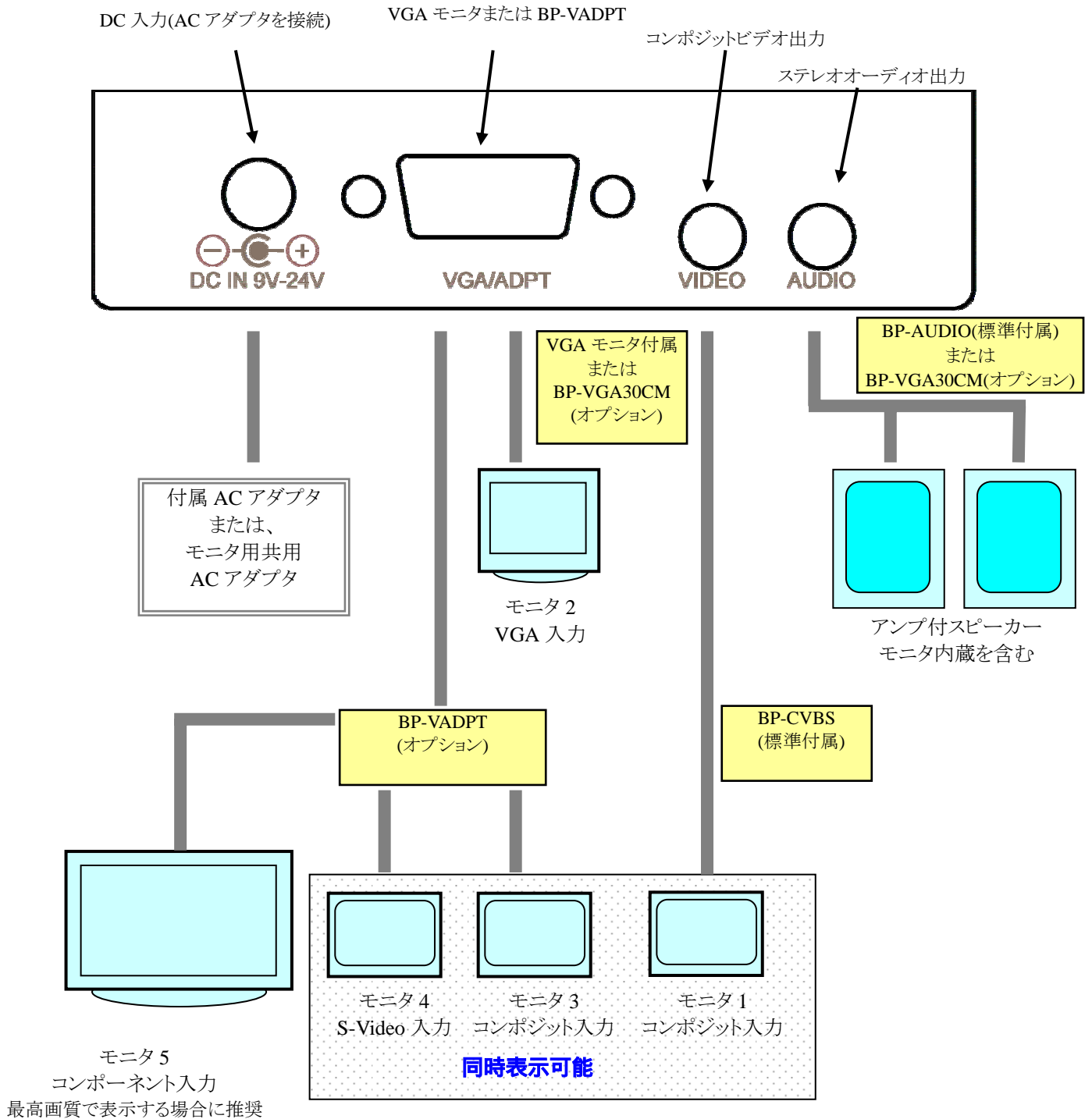
再生ファイルの順序について

- 各種再生モードで複数のファイルを連続して再生する場合、それらのコンテンツはファイル名の数字アルファベット順に再生されます。日本語ファイル名については、不定となりますので半角数字アルファベットの使用をお勧めします。
- abc.mpg, abc.jpg, abc.mp3 のように拡張子以外のファイル名が全く同じ場合、メディア上のディレクトリリスト順が優先されます。ディレクトリリスト順とは一般にメディアに書き込んだ順ですが、ファイルを削除したりするとこれらの順序が変わってきます。
 - ※ このルールは今後変更されることがあります。再生順が重要な場合、上記のような拡張子以外共通となるファイル名は避けてください。

内蔵時計のバックアップ時間について

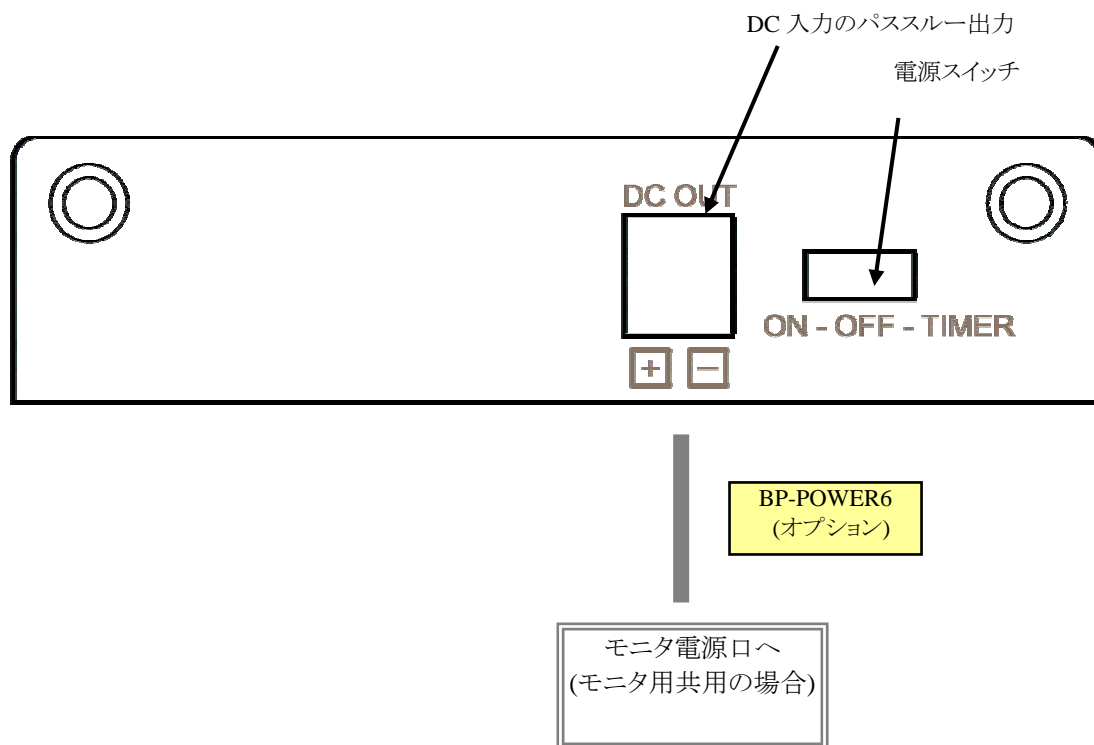
- 内蔵時計は、内部バッテリーにより完全充電状態から 30 日以上バックアップ動作し続けます。内部バッテリーは、電源モードスイッチが“ON”または“TIMER”の位置の時、本体の動作状態に関係なく充電されます。完全放電状態から 5 時間の充電で約 40%、30 時間の充電でほぼ満充電となります。
- 新たに設置したり、設置場所を変更した際には念のため現在時刻を確認してください。設定方法は、「**各種設定** -SPECIAL SETUP - TIMER - SET」をご覧ください。

7. BPOPer6 の各部の機能と接続



コンポジットビデオ→VGA 出力→コンポーネント出力を切り替えるにはリモコンの Output ボタンを押して切り替えてください。
出荷時はコンポジットビデオ出力モードになっています。

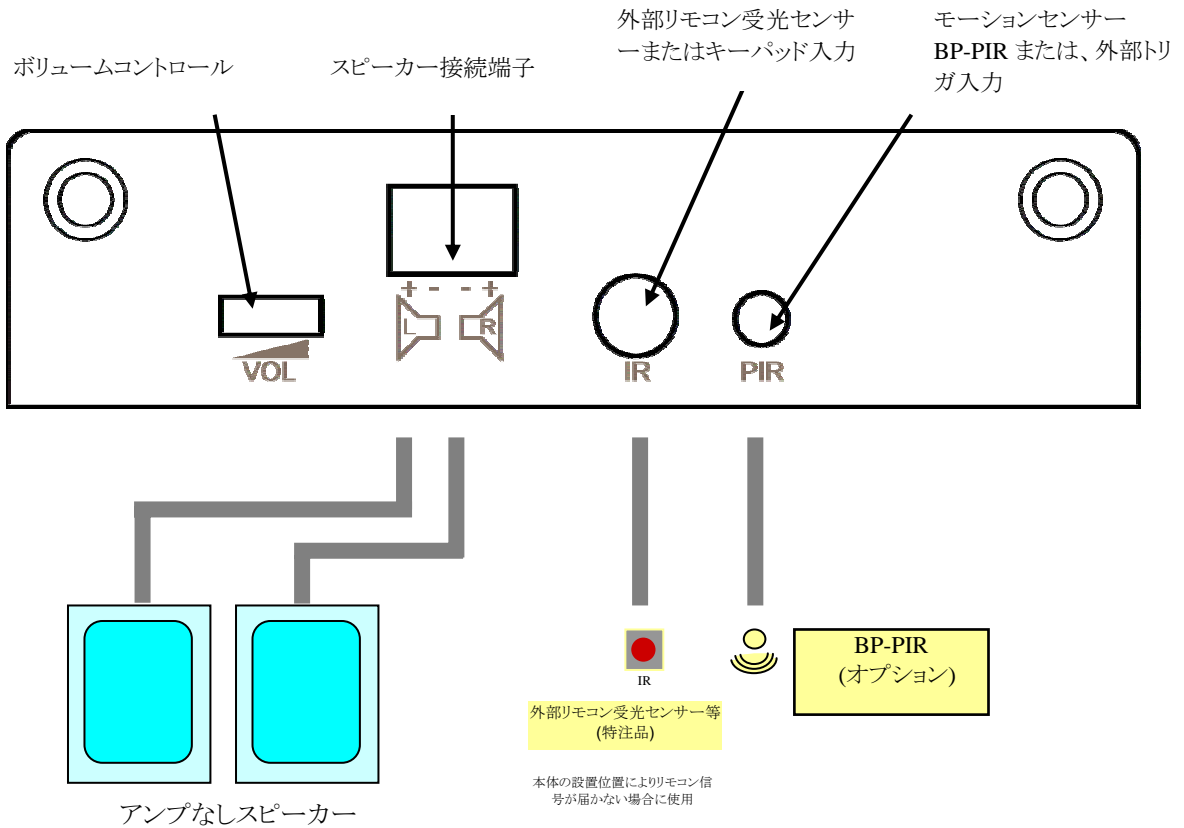
BP-VADPT を経由することで、コンポーネントビデオ信号、S-Video 信号、第 2 コンポジット信号を利用できるようになります。
お買い求めの構成によっては、付属品内容が異なることがあります。



DC OUT は、BPOPer6 本体の動作と連動し出力のオンオフを行います。出力は DC 入力と同じ電圧で最大 4A までを出力します。

4A を超える負荷は決して接続しないで下さい。BPOPer6 の故障の原因となります。

DC OUT に接続するケーブルは、BP-POWER6 または、適宜製作して利用下さい。適合コネクタは、Molex 51144-0200 です。



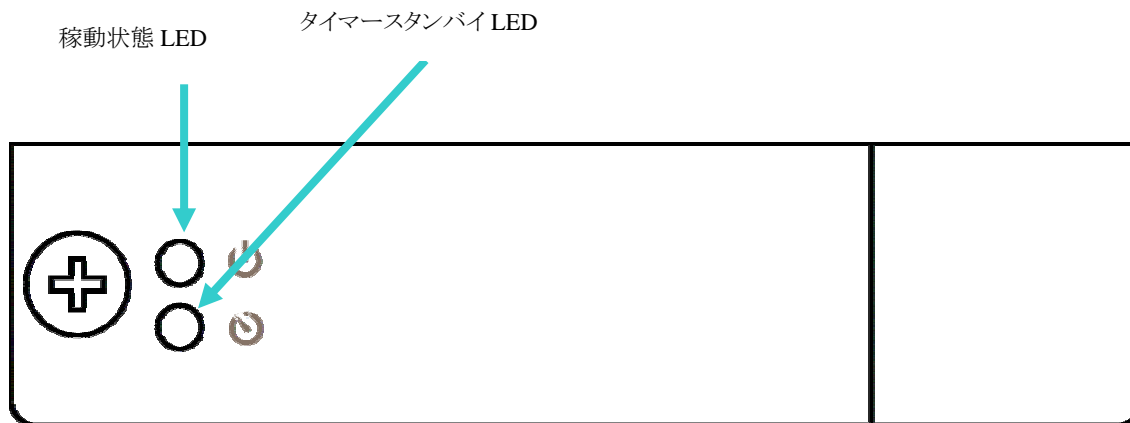
リモコンでも音量調整可能です。

接続するスピーカーは最大 2W+2W@4Ω です。

接続するケーブルは、AWG26 から AWG20 のもので被覆剥き長さは 9-10mm としてください。

IR ポートは、BPOPer6 の接続位置がリモコン受光できない場合や、キーパッドなどを接続する際に使用します。

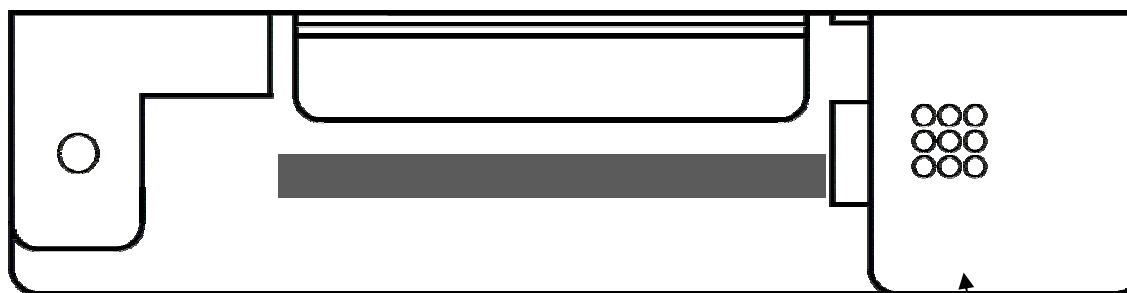
外部トリガ入力の使用に際しては、販売代理店にお問い合わせ下さい。



稼動状態 LED はタイマーモードで設定時間外の場合は点灯しません。タイマースタンバイ LED は、タイマー設定時間外のスタンバイ状態の時に点灯します。

CF メディアは、本体前面のネジを 1 個外して、メディアカバーを取り外して着脱を行います。

CF メディアは、上下逆様にして挿入します。CF スロットの位置に注意して装着してください。



メディアの挿入方向 コンパクトフラッシュカード。表面が下側にくるように

リモコン受光部



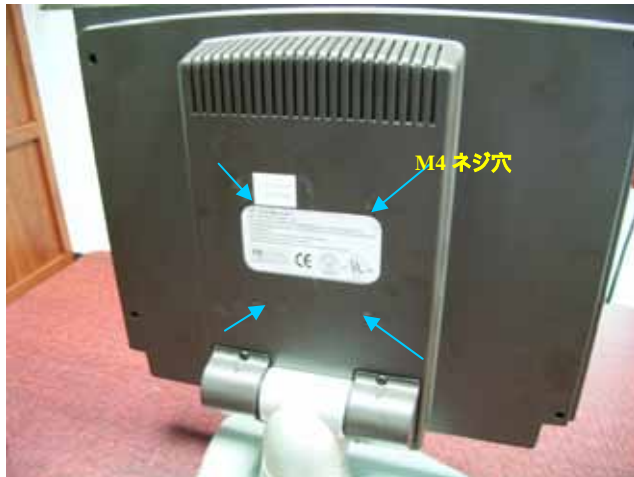
CF メディアを抜く時は、親指と人差し指で掴んで抜き取ります。CF カードのエッジ部分に出っ張りがあるので、それらうまく指を掛けて引き抜くと取り出しやすいです。

注意

コンパクトフラッシュメディアは、BPOPer6 本体の電源が入ったまま抜き差しを行っても故障しない設計になっていますが、各種コネクタは、電源を切った状態で接続するようにしてください。特に、IR、PIR への電源が入ったままでの接続は、装着する機器ばかりか、BPOPer6 本体の故障の原因となります。

8. VESA マウント取り付け

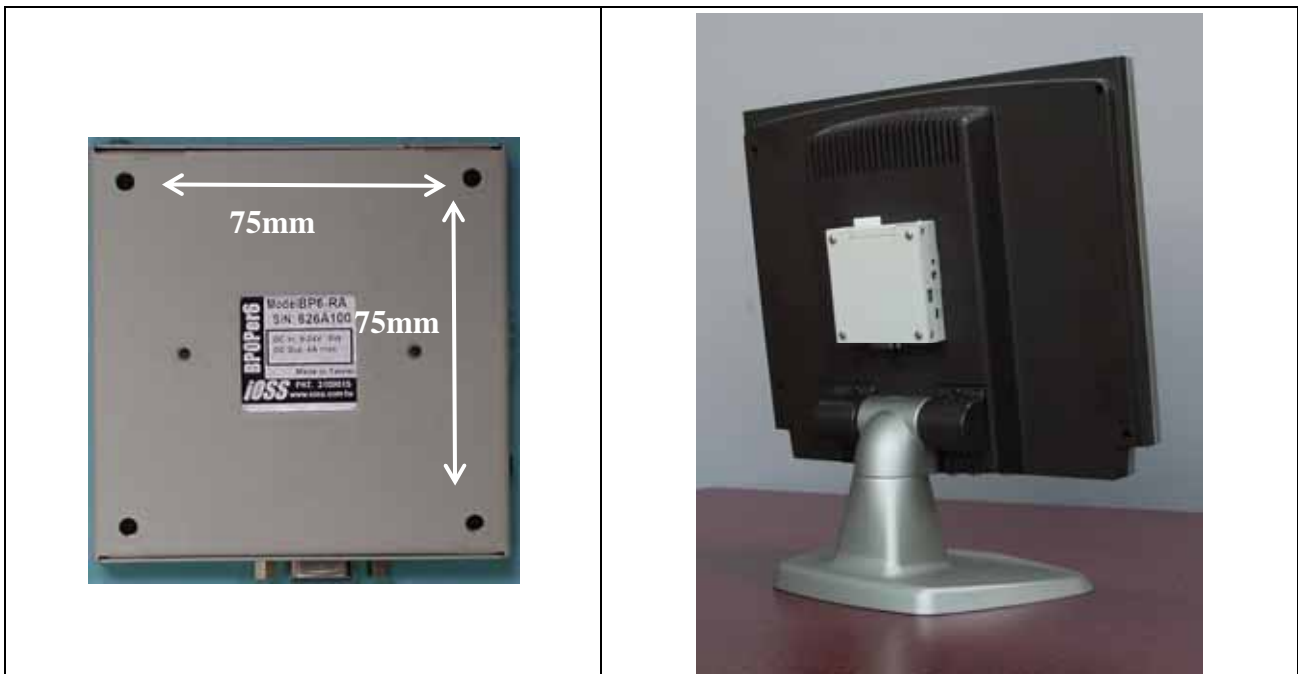
BPOPer6 は単体で据え置き型として使用できるばかりでなく、VESA 規格に沿ったデザインの液晶モニタの背面に取り付けて使用することもできます。



規格には、穴と穴のピッチが 75mm のものと、100mm の 2 種類があります。

BPOPer6 には 75mmVESA マウント規格に合致した取り付け穴が開いているため、背面に本体を取り付けることができます。また、アームとの間に挟んで使用することも可能です

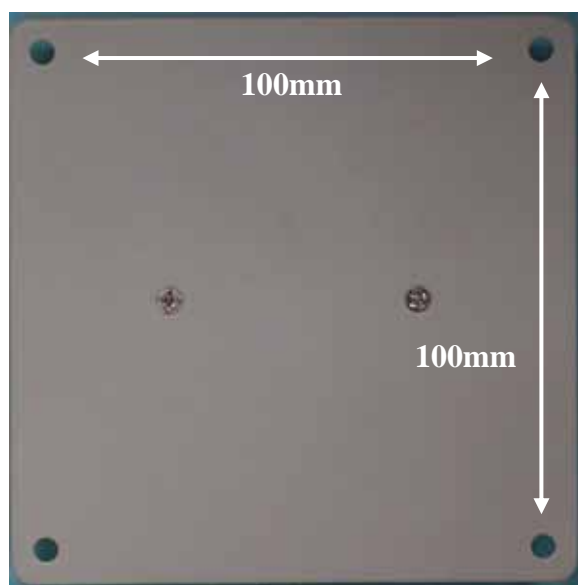
75mm ピッチマウント方式



100mm ピッチマウント方式

100mm ピッチのモニターに対しては、付属のマウントアダプタを付属のねじ 2 本で固定し使用することによって、装着可能になります。

付属マウントアダプタの装着



何れの場合もモニターと BPOPer 本体の間に付属のゴム足により若干の空間ができるように設置してください。

使用するネジについて

モニター側の VESA マウントネジの最大深さは機種によってそれぞれ異なります。モニターの説明書等に従ってネジを選定してください。

9. DC パススルー接続について

BPOPer6 の DC OUT 端子は、ひとつの AC アダプタで、BPOPer6 以外の周辺機器を同時に駆動することで、コンセント周りをすっきりさせる目的で用意されています。

DC OUT 端子の出力は、BPOPer6 本体の動作状態と連動して出力されます。BPOPer6 の電源スイッチが”ON”または、”TIMER”にあつて、設定タイマー時間内の場合、DC OUT より電力が出力されます。

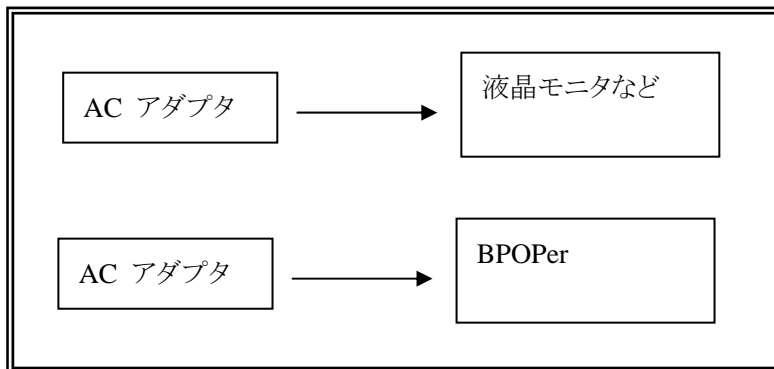
DC OUT 端子から出力される電圧は、BPOPer6 に入力される電圧と同じで出力電流は最大 4A までとなります。

BPOPer6 付属の AC アダプタを利用する場合、スピーカーを接続しない場合 0.5A 以下小電力機器を駆動する場合に限り使用可能です。スピーカーを接続して使用する場合、付属の AC アダプタ利用に置いては、この DC OUT 端子に負荷を接続してはいけません。必要に応じて別途 AC アダプタをご用意下さい。

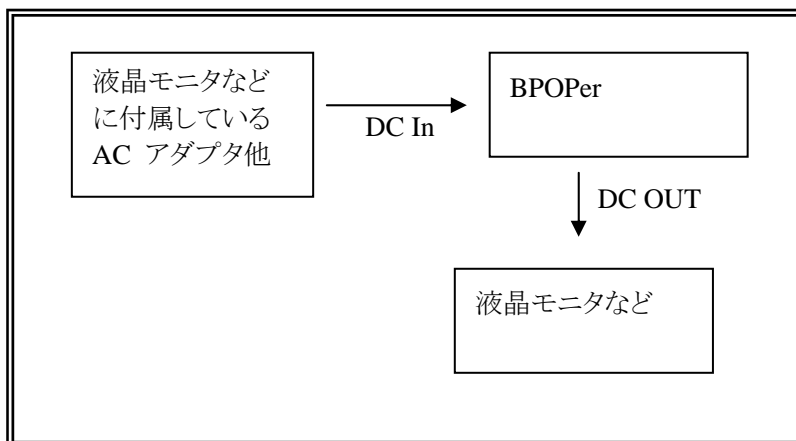
液晶モニタの AC アダプタを利用して BPOPer6 も同時に駆動したい場合は、その AC アダプタが DC9V~24V の仕様であることと、AC アダプタに 6W (スピーカ接続時は 12W) 以上の電力余裕があることを確認の上利用ください。余裕のない状態で使用すると、アダプタが破裂したり、火災を起こしたりすることがあります。

DC OUT 端子を利用するには、ケーブルを自身でご用意いただくか、BP-POWER6 などのオプションを利用ください。

標準形式



DC パススルー利用形式



AC アダプタの出力電流余裕が最低 6W 分あることを確認ください。アンプ出力の必要なスピーカーを BPOPer6 に接続して使用する場合は 12W 分の余裕が必要です。

10. 赤外線モーションセンサー(人体検出センサー)・外部トリガポートについて

BPOPer6 には赤外線モーションセンサーBP-PIR や、外部トリガスイッチを接続するための PIR ポートが装備されています。

赤外線モーションセンサーBP-PIR を接続することで、人体の接近にあわせて、映像、音声のオンオフ行ったり、再生するコンテンツを切り替えたりすることができます。流しっぱなしのビデオや音声とは違い、近づくことで流れ出す映像や音声は注目度アップやセキュリティ分野にも応用できます。

外部トリガーは、赤外線モーションセンサーと同じ信号レベルの出力となる装置またはスイッチを接続することで、人体の接近だけでなく、以下のような様々なシーンで BPOPer6 の動作を切り替えることができます。

- 商品を取り上げるとコンテンツ再生開始・音声再生開始・再生コンテンツ切替
- 「このボタンを押してください」など、顧客に能動的に動作してもらい、コンテンツ再生開始・音声再生開始・再生コンテンツ切替
- 客の流れや、客層に合わせて再生コンテンツを離れたところから切替

外部トリガーに関するご質問は、販売代理店にお問い合わせ下さい。

BPOPer6 の赤外線モーションセンサーの人体検出時の動作や外部トリガー入力時の動作は設定により異なります。これらの設定は、「**各種設定**- PREFERENCE-SENSOR MODE」の項目をご覧ください。

BPOPer6 に接続可能な BP-PIR 赤外線モーションセンサーは、下記の仕様を満足しています。

- ◆ 検出範囲 水平 100 度 垂直 82 度 5メートル以内
- ◆ 検出条件 背景に対し 4℃以上の温度差のある 70x25cm 以上の大きさの物体が 1.0m/秒程度以上の速度移動した場合
- 電源を入れた直後約 30 秒間は、人体の有無に関わらず検出状態となることがあります。
- よりセンサーに近い距離に置いては、指先の動きも検出しますが、センサーの前に赤外線を遮るガラスなどがあると検出しなくなります。
- 人体ばかりでなく小動物や、エアコンなど温度差のある空気の流れも検出することがあります。
- 人体がセンサーの直前にあっても、上記仕様を満足する動作がないと非検出となります。

11. 赤外線リモコン

添付の赤外線リモコン上の表記とその機能は下記の通りです。なお、**自動再生モード**にしておく限り、**通常の運用**においては、**リモコンは必要ありません**。

ボタン	機能説明
Photo	写真一覧画面に入り、縮小化された映像を見ながら選択することができます。
Music	音楽ファイル一覧に入り、聴きたい MP3,WAV 音楽を選択することができます。
Video	ビデオ一覧画面に入り、縮小化された MPEG 映像を見ながら選択することができます。
File	全ファイル一覧ができます。
数字キー	指定のファイルを直接指定できます。
Output	出力するモニタのタイプを変更する際に押します。 出荷時はコンポジット出力設定になっており、VGA やオプションの BP-VADPT を経由したコンポーネント出力は機能しません。Output を押すごとに、 コンポジット->VGA-コンポーネント の順に切り替わります。電源オン語始めて Output を押す時は 2 回目の押下げから有効になります。 正常に表示されない場合は、このボタンを 3 秒以上に 1 回の割合でゆっくりと映像が正しく表示されるまで繰り返してください。
Main	メインメニューに入ることができます。 ■メディアの中に、2 種類以上のファイル形式のファイルが入っていないとメインメニューは表示されません。
Auto	メインメニューを経由せずに自動再生を開始します。 ■自動再生を行うには、スライドショーモードを”AUTO”に設定してください。これを設定しておきませんと、最初のファイルのみが表示されます。 ■電源オンで自動再生を行いたい場合は、SLIDE SHOW SETUP - AUTO START をご覧ください。
Set up	BPOPer6 の各種設定を行います。
Step	スライドショーにおいて、バックグラウンドミュージックとして再生させます。 ■このボタンは、Photo 再生モードにてのみ機能します。
Display	ファイル名、サイズ、日付を表示します。
Vol +	音量をアップします。
Vol -	音量を下げます。
Mute	音声出力を一時中断します。
Mode	写真スライドショー表示において、画面切り替えのモードを変更できます。 ■このボタンは、Photo 再生モードにてのみ機能します。
Slow	写真スライドショーにおいて、表示時間間隔を調整します。 ■このボタンは、Photo 再生モードにてのみ機能します。
Rot	写真を回転させます。1 回押すごとに右へ 90 度回転します。 ■このボタンは、Photo 再生モードにてのみ機能します。
Zoom	写真のズームを変更します。1 回押すごとに、ズーム比率が変わります。ズーム後、矢印ボタンで、見る位置を変えることができます。 ■このボタンは、Photo 再生モードにてのみ機能します。
Repeat	リピート再生のモードを切り替えます。 ■このボタンは、Photo 再生モードにてのみ機能します。
✓	現在選択しているものを実行したり表示・再生したりします。
∧	カーソルを上へ移動します。
∨	カーソルを下へ移動します。
<	カーソルを左へ移動します。
>	カーソルを右へ移動します。
■	現在選択しているモードを停止します。
▶	再生 / 一時停止をします。
▶▶	次のファイルに移ります。
◀◀	前のファイルに移ります。

リモコン使用時の注意

- リモコンは、液体のかかる場所や、熱、衝撃、振動のあたる場所から避けてお使いください。
- リモコンの伝達距離が短くなったと感じたら電池を交換してください。
- 古い電池は2本とも同時に新しい電池と交換してください。
- 電池が弱くなったときや、長時間使用しないときは、取り外してください。放置したままにしておきますと液漏れの原因となります。
- 電池を正しく装着しないと故障の原因となります。

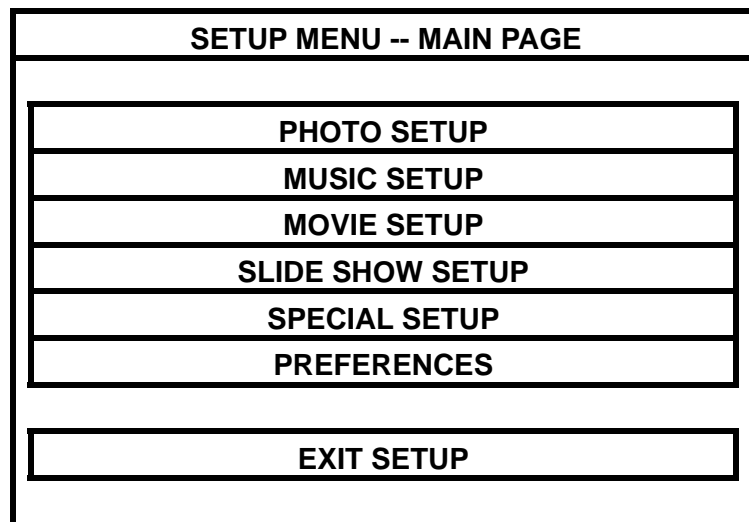
12. 各種設定

BPOPer6には多彩な動作を設定できるセットアップメニューが用意されています。この項では、POP用途として必要な部分について抽出して説明してあります。詳細を記載していない部分において質問がありましたら、当社までお問い合わせ下さい。

MAIN メニュー -

リモコンの **SETUP** ボタンの”**SETUP**”を押すと下の画面が表示されます。

自動再生途中では、すぐに表示されないことがあります。停止ボタン”■”を押すか自動再生モードを解除してから押してください。



それぞれの概要

静止画像の表示に関する設定
 音声、音楽の再生に関する設定
 動画の再生に関する設定
 スライドショーに関する設定
 時計機能に関する設定
 システムに関する設定

セットアップの終了

セットアップメニュー内では、リモコンの矢印キー(↑↓→←)および確定キー✓で設定が行えます。

PREFERENCES は AUTO START が有効になっていたり、再生動作を開始した後では選択できなくなります。“SETUP”を押し、一端セットアップ画面から抜け、停止ボタン”■”を押し、“FILE”ボタンを押してから再度”SETUP”を押してください。これで PREFERENCES 選択ができるようになります。

工場出荷時の設定に戻すには、PREFERENCES - SETUP VALUES - DEFAULT を選択することで実行できます。

PHOTO SETUP メニュー

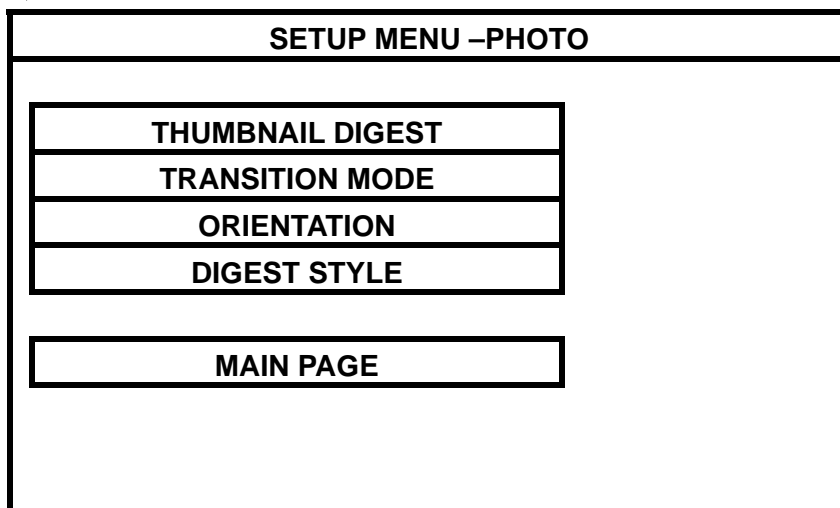
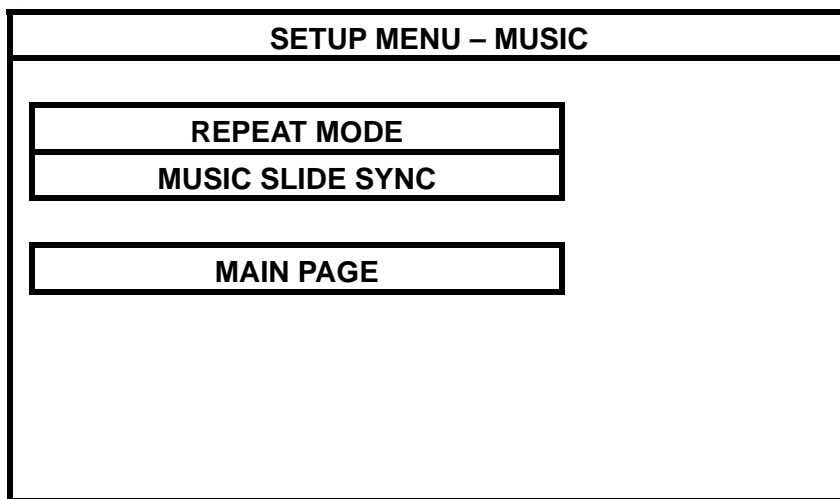


PHOTO SETUP メニューの全項目はデフォルトのまま使用下さい。

デフォルト設定は、下記の通りです。

- THUMBNAIL DIGEST - ON
- TRANSITION MODE - FAST
- ORIENTATION - DEFAULT
- DIGEST STYLE - 3x3 MATRIX

MUSIC SETUP メニュー

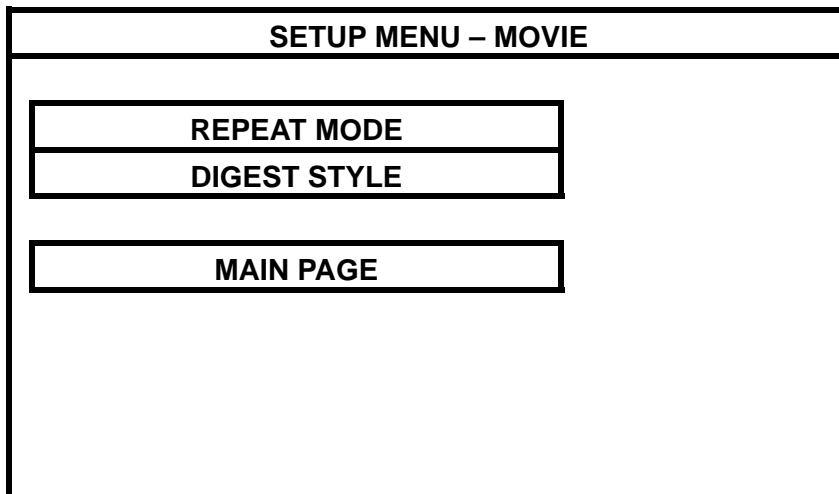


MUSIC SETUP メニューの REPEAT MODE はデフォルトのまま使用下さい。デフォルト設定は、ALL です。

MUSIC SLIDE SYNC は、静止画とミュージックファイルとの同期再生の設定をします。

OFF	同時同期再生を行わない
ON	ミュージックファイルとの同時再生を行います。静止画の切り替え間隔は、SLIDE SHOW SETUP - INTERVAL TIME で指定される時間です。ミュージックファイルは順番に連続再生されます。
SYNCRONIZED	<p>ミュージックファイルと静止画が 1 対 1 で同期しながら再生します。ミュージックファイルの再生が終了するまで静止画の画面は切り替わりません。</p> <p>同期は、静止画のファイルとミュージックのファイルの拡張子を除く名前が共通であることと、ファイルの数が必ず一致することが必須です。再生順はファイル名を数字、アルファベット順に並び変えて昇順に再生します。</p> <p>例： 01abc.jpg, 01abc.mp3, 02abc.jpg, 02abc.mp3, 02abb.jpg, 02abb.mp3 の 6 つのファイルがあった場合、01abc.jpg と 01abc.mp3, 02abb.jpg と 02abb.mp3, 02abc.jpg と 02abc.mp3 のペアでこの順に再生され、これを繰り返します。</p> <p>通常 JPEG ファイルの読み込むと表示開始までの時間に対し、ミュージックファイルの再生開始の方が早く見えます。特に JPEG ファイルのサイズが大きいほどこの現象が顕著になります。同期再生を行うミュージックは、この特性を意識し、頭の部分に無音声の時間を挟んだり、静止画のファイルサイズが小さくなるように工夫してください。</p> <p>静止画に対応する音声ファイルがない(無音声としたい映像)場合でも、表示必要時間の無音声の MP3 ファイルを用意下さい。</p>

MOVIE SETUP メニュー



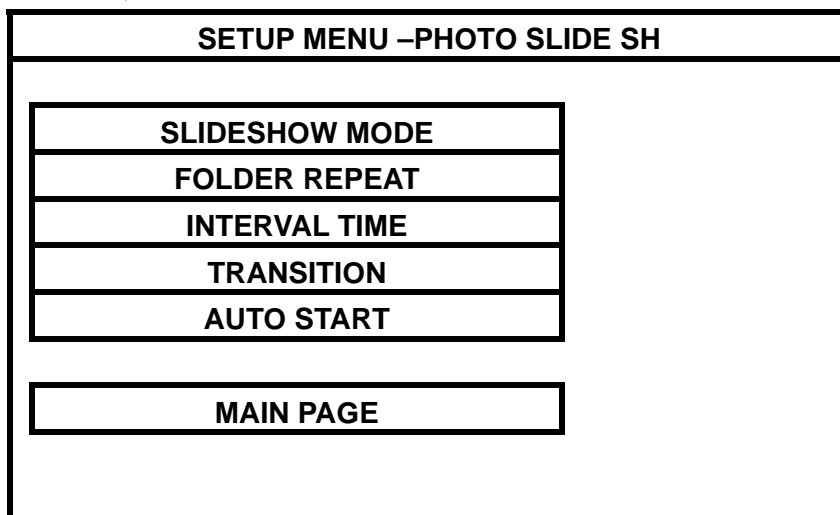
MOVIE SETUP メニューの全項目はデフォルトのまま使用下さい。

デフォルト設定は、下記の通りです。

REPEAT MODE - CONTINUOUS

DIGEST STYLE - 3x3 MATRIX

SLIDE SHOW SETUP メニュー



SLIDE SHOW SETUP メニューの下記項目はデフォルトのまま使用下さい。

SLIDESHOW MODE - AUTO

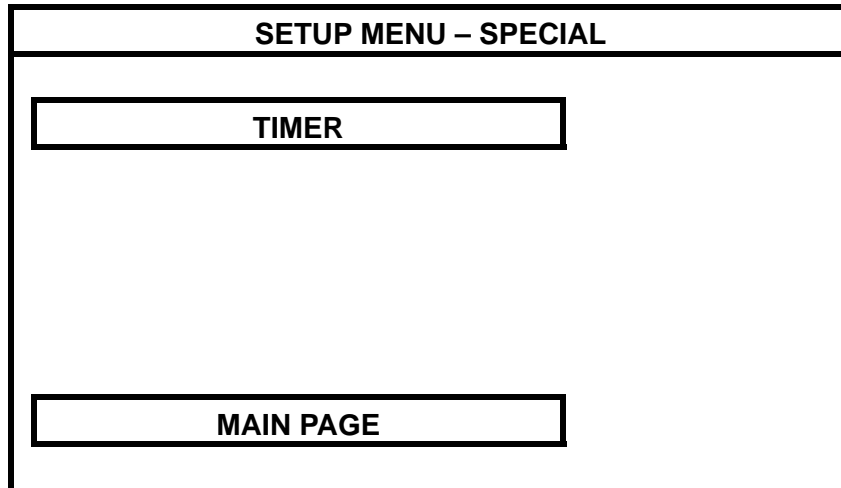
FOLDER REPEAT - ON

AUTO START は、リモコンを使うことなく自動で再生開始する時に"ON"とします。これはデフォルト設定です。ユーザがリモコンを用いて再生コンテンツを逐次指定したい場合は、これを"OFF"にしてください。

INTERVAL TIME は、静止画の切り替わる時間間隔を指定しますが、MUSIC SETUP メニューで MUSIC SLIDE SYNC を選択した場合この設定は無視されます。

TRANSITION は静止画の画像の切り替わり方を変更します。実際に動作させてみて最適なものを選んでください。

SPECIAL SETUP メニュー



TIMER

TIMER は、内蔵カレンダー時計の設定や自動運転の時間設定および再生対象の設定を行います。

設定時刻に関する共通事項

- 時刻は 24 時間方式で、00:00 から 23:59 までの時刻設定が行えます。
- 時刻設定は、↑キーと↓キーを用いて設定し、前後のフィールドに移るには、→キーと←キーを使用します。
- ↑キーと↓キーを用いて時刻設定をした後、必ず 1 回は→キーを押してください。これをしませんでしたと設定が無効になることがあります。
- 該当タイマーセットを使用したくない場合は、表示が”--:--“となるように設定します。カーソルを 時 の部分に合わせ、23 の次(↓)もしくは 0 の前(↑)を押すと表示が”--:--“となり、その時刻設定が無効になります。
- 分単位部分の時刻設定に置いては、(↑)を押すと 5 分単位で数字が上がり、(↓)を押すと、1 分単位で数字が下がります。これによりより素早く指定時間の設定ができます。
- SET は、再生対象フォルダを指定します。
- ON 時刻と OFF 時刻および SET(再生対象フォルダ)で 1 セットです。

電源モードスイッチが”TIMER”の位置にない限り、設定したタイマーは機能しません。タイマー設定は、電源モードスイッチが”ON”の位置において実行してください。

再生対象フォルダに関する共通事項

- 再生対象フォルダは、下記の固定のフォルダ名のみが対象になります。
”F1”、“F2”、“F3” “F4” “F5” “F6” “F7” “F8” “F9”
これら以外のフォルダは指定することができません。また、組み合わせて指定することはできません。またこれらのフォルダ以外のファイルやフォルダがルートディレクトリにあると動作は不定となります。
さらに、これらのフォルダは全て作成しておく必要があります。使用しないフォルダであっても空コンテンツのフォルダとして作成してください。 ”ALL” を指定する時のみ、フォルダにこれらの制限はなくなります。
- 組み合わせが必要になる状況に置いては、同一ファイルを別の再生対象フォルダにコピーしてそのフォルダを指定するようにしてください。
- 他に”ALL”の選択肢があり、これを選択すると上記のフォルダ名を含め全てのファイルが再生対象になります。

TIMER - SINGLE

SETUP MENU – SPECIAL			
TIMER	>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">SINGLE</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">WEEKLY</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">SET</div>	
ON 09:00 12:30 18:00 OFF 11:30 17:59 21:00 SET F1 F2 ALL			
MAIN PAGE			

1 日を 3 つの時間帯ブロックに分け、それぞれの稼働時間と、再生フォルダの指定を行います。

SINGLE で時刻設定がされていても WEEKLY の設定画面に一旦入ると、WEEKLY の設定が優先されます。これは、WEEKLY の設定そのものを行う操作に関わりません。

WEEKLY の設定画面に間違っ入ってしまったら、SINGLE の設定画面に一旦入ってから SETUP メニューを抜け出てください。

設定の注意

必ず左側の時間設定セットが右側よりも早い時刻となるように設定しなくてはなりません。

正	誤
ON 09:00 12:30 18:00	ON 18:00 09:00 12:30
OFF 11:30 17:59 21:00	OFF 21:00 11:30 17:59

深夜 0 時を跨いで時間を設定するには、

例: 21:00 から 03:00 まで稼働したい場合

正			
ON	--:--	21:00	--:--
OFF	03:00	--:--	--:--

誤	誤
ON 21:00 --:-- --:--	ON 21:00 --:-- --:--
OFF 03:00 --:-- --:--	OFF --:-- 03:00 --:--

例: 21:00 から 03:00 および、06:00 から 17:00 まで稼働したい場合

正			
ON	--:--	06:00	21:00
OFF	03:00	17:00	--:--
SET	F1	F2	F3

再生セットは、オン時刻で設定された再生セットが再生されます。よって、06:00 から 17:00 までは、F2 が、21:00 から 03:00 までは、F3 が再生されます。

TIMER - WEEKLY

SETUP MENU – SPECIAL							
TIMER					>	SINGLE	
						WEEKLY	
						SET	
	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
ON	10:00	12:00	--:--	12:00	12:00	12:00	10:00
OFF	20:00	20:00	--:--	20:00	20:00	21:00	21:00
SET	ALL	F2	ALL	F1	F3	ALL	F5
MAIN PAGE							

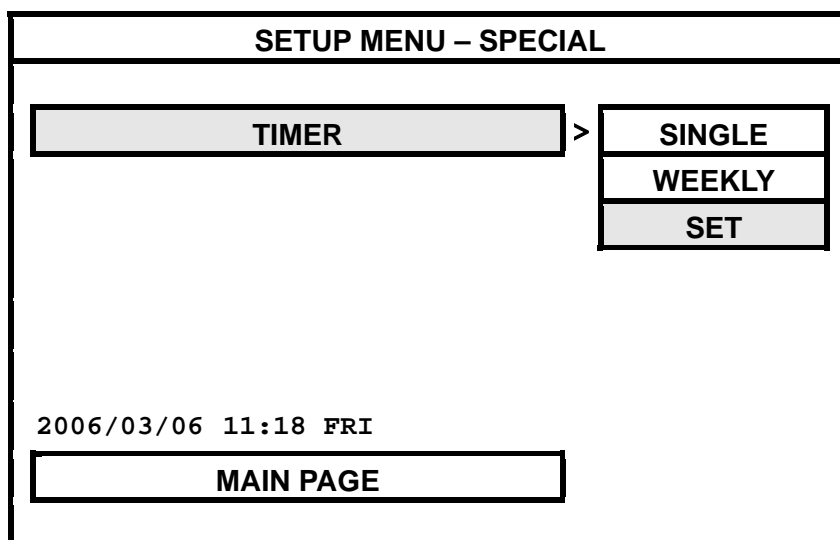
各曜日ごとの稼働時間と、再生フォルダの指定を行います。

定休日がある場合は、ON,OFF 共に"--:--"と設定しておくことで、当該曜日を1日非稼働とすることができます。

WEEKLYで時刻設定がされていてもSINGLEの設定画面に一旦入ると、SINGLEの設定が優先されます。これは、SINGLEの設定そのものを行う操作に関わりません。

SINGLEの設定画面に間違っって入ってしまったら、WEEKLYの設定画面に一旦入ってからSETUPメニューを抜け出てください。

TIMER-SET



内蔵カレンダー時計の設定を行います。年、月、日、時、分、曜日を順に指定し、カーソルが曜日の位置から➡キーを必ず押してください。設定が無効になることがあります。

内蔵時計は内部バッテリーにより電源が抜かれたままの状態や、電源モードスイッチが"OFF"の位置のままの状態、完全充電状態から30日間動作し続けます。電源モードスイッチが"ON"または"TIMER"の位置にあると約5時間で約40%の充電、30時間の充電でほぼ満充電となります。

新たに設置したり、設置場所を変更した際には念のため現在時刻を確認してください。

SINGLEやWEEKLYで設定した項目は内部バッテリーの状況に関わらず消えることはありません。ただし、工場出荷時設定 PREFERENCES - SETUP VALUES - DEFAULT を実行するとこの二つの設定は全てリセットされます。

PREFERENCE メニュー

-- PREFERENCE PAGE --	
SENSOR MODE	
ON DELAY	
OFF DELAY	
OSD LANG	
OSD MESSAGE	
SETUP VALUES	
FIRMWARE	

各種システムに関する設定を行います。

PREFERENCE – SENSOR MODE

PIR ポートに接続した、赤外線モーションセンサー(BP-PIR)や外部トリガーの検出に対する動作を指定します。

OFF	PIR ポートの動作を無効にします。 デフォルト
VIDEO	PIR が検出すると、画面がオンになり再生を開始します。PIR が非検出状態になると画面がオフになり再生が停止します。オンのときの再生は、コンテンツの最初から行われます。 PIR 検出から画面に実際に表示されるまでには若干の遅延があります。 映像表示の初期に OSD 表示が短時間表示されます。
AUDIO	PIR が検出すると、流れている映像の音声のミュートが解除され、非検出状態になるとミュートオンとなり音声が聞こえなくなります。映像は常に流れ続けています。
PROGRAM	PIR が検出すると、固定フォルダ名”P1”の内容を 1 回再生し、その後固定フォルダ名”P2”の内容を繰り返し再生します。”P1”フォルダ再生中に PIR が再度検出しても”P1”フォルダの内容が 1 回完全に再生し終わるまで”P1”を再度最初から再生することはありません。 PROGRAM モードでは映像と音声は常に流れています。

PROGRAM モード使用上の注意

- このモードを使用するときは、メディア上には”P1”と”P2”以外のフォルダやルートディレクトリ上のファイルを置かないで下さい。

PREFERENCE – ON DELAY

赤外線モーションセンサー(PIR)の検出から SENSOR MODE で設定した各動作の開始までの遅延時間を設定しますが、BPOPer6 での PIR センサーの特性上、0SEC または 1SEC で使用することを推奨します。ON DELAY では、PIR が継続的に検出状態となっている必要があるため、これ以上の長さの設定では期待通りの結果を得ることができません。

デフォルト値は 0SEC です。

PREFERENCE – OFF DELAY

赤外線モーションセンサー(PIR)が非検出となつてから SENSOR MODE で設定した各動作の終了までの遅延時間を設定します。この OFF DELAY 時間中に PIR が検出すると、時間はリセットされ、この後再度非検出となつてからの時間が対象となります。

デフォルト値は 30SEC です。

この時間はコンテンツの長さよりも長い時間を設定するのが効果的です。

PREFERENCE – OSD LANG

設定メニューの表示言語を指定しますが、現在 ENGLISH のみの選択肢となります。

PREFERENCE – OSD MESSAGE

再生開始時など各種再生状況を画面左上に表示する機能を有効(ON)、無効(OFF)に選択します。

デフォルト値は ON です。

PREFERENCE – SETUP VALUES

各種機能設定を工場出荷時に戻すときに選択します。

SPECIAL SETUP – TIMER – SINGLE と SPECIAL SETUP – TIMER – WEEKLY の各設定も全て "--:--", "ALL" に設定されますが、内蔵カレンダー時計の現在時刻 SPECIAL SETUP – TIMER – SET の各値は現在時刻を維持し続けます。

PREFERENCE – FIRMWARE

ファームウェアの更新を行うときに選択します。

13. トラブルシューティング

警告

理由の如何を問わず、ご自身で修理しようとしたりして、本体の蓋をあけたりすると、保証の対象外となりますのでお気をつけください。本体内部には、高電圧となっている部分があり、蓋をあけると、電気ショックを受けたりすることがあります。本体を修理に出す前に、まずは、次の点を確認してください。下記の通りに行っても直らない場合は、お買い上げ頂いた販売店または弊社にお問い合わせください。

問題	解決方法
映像が表示されない	電源は正しく接続されていますか？ 電源モードスイッチが ON の状態で正常に映る場合は、タイマーの時刻設定を確認下さい。 電源モードスイッチの ON <-> TIMER の切り替えはゆっくりと行ってください。 出力モードがご利用のモニタにあってない可能性があります。リモコンの Output の欄を参照し、ボタンを押して出力モードを切り替えてください。
音楽を聴くことができません	リモコンによるボリューム設定、本体側面のボリューム設定、PREFERENCE - SENSOR MODE のセンサーモードの設定を確認してください。
赤外線モーションセンサー(PIR)が正しく動作しない	PIR の前に、ガラスなど赤外線を遮るものはありますか？ PREFERENCE - SENSOR MODE、 PREFERENCE - ON DELAY、 PREFERENCE - OFF DELAY の設定は正しく行われていますか
リモコンが正しく動作しません	バッテリーが正しく装着されていないことがあります。 バッテリーを交換してください。 リモコンの赤外線発射部分を本体の受光部に向けて見てください。
メモ리카ード上のファイルを再生・表示することができません。	パソコン上でスキャンディスクを実行してみてください。
NO DISC と表示されます	CF カードまたはマイクロドライブが正しく装着されていません。

BPOPer6B 取扱説明書
BP6-MAN02
Ver.1.0 2006年11月
株式会社アクセス
特許番号 3103564